

よいことのために手を取りあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>
メールアドレス yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会 長 藤田 龍文
幹 事 運天 直人

創立1986年

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1869回例会 | 令和7年9月18日
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 第2530地区ガバナー 泉田征慶様
- 第2530地区県南分区ガバナー補佐 大木和彦様
- 第2530地区分区副幹事 朝田英洋様
- 第2530地区県南分区幹事 久保木徹朗様
- 第2530地区県南分区副幹事 谷地儀仁様

○スマイルBOX

- 泉田征慶様(お礼)
- 大木ガバナー補佐(ガバナー公式訪問お世話になりました。)
- 久保木徹朗県南分区幹事(白河西RCガバナー公式訪問に参加させて頂きありがとうございました。今年度よろしくお願ひ致します。貴クラブの益々の発展を祈っております。)
- 谷地儀仁様(クラブ協議会では、ガバナー及び各委員長のお話を聞き、大変勉強になりました。ありがとうございました。)
- 藤田龍文会長(本日は泉田ガバナー卓話ありがとうございました。白河西RCの良さを味わっていただけましたでしょうか!!)
- 運天直人幹事(泉田ガバナー、地区、分区の皆様ようこそ西クラブへ。本日は、改めて気合を入れ直し、本年一年つとめて参りますのでよろしくお願い致します。)
- 金田昇会員(本日は、泉田ガバナー、大木ガバナー補佐様はじめ地区役員のみなさま公式訪問ありがとうございました。)
- 永野文雄会員(泉田ガバナー様、大木ガバナー様、公式訪問ありがとうございました。)
- 居川孝男会員(泉田ガバナー初め、地区、分区の役員のみなさま、来訪ありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願い致します。)
- 成井正之会員(泉田ガバナー卓話ありがとうございました。本日は、健診の為残念ながら欠席させていただきます。今週の大谷スマイルは49、50号でした。)
- 成井正之会員(先程、病院で検診中の成井さんより、待合室にいたら大谷が51号を打ったので千円追加の指示が参りました。わがままな先輩の指示に従順に従う吉野が代筆いたしました。)
- 宮本多可夫会員(泉田ガバナー様、公式訪問ありがとうございました。)
- 吉野敬之会員(泉田ガバナー、大木ガバナー補佐、本日は、ありがとうございました。)
- 関谷亮一会員(泉田ガバナーようこそおいで下さいました。卓話ありがとうございました。)
- 富永章会員(泉田ガバナー、朝田副幹事ようこそ白河西ロータリークラブへ。御指導よろしくお願い致します。)
- 沼田重一会員(ガバナー泉田様、ガバナー補佐大木様、ご訪問ありがとうございました。)
- 山縣榮寿会員(本日は、遅れての出席申し訳ございませんでした。スマイル、スマイル、スマイルいたします。)

▶第1869回例会出席状況

(R7年9月18日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	55名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	73名
Ⓒ ①の出席者数	35名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	18名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	53名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	73
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	72.6%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月13日 社会・国際奉仕委員会
RI財団委員会合同セミナー
金田昇、山縣榮寿、大住ゆかり、大竹憂子

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。本日はガバナー公式訪問例会ということで、大変多くの会員の皆様にお集まりいただき、そしてガバナーはじめ、地区、県南分区の役員の皆様もお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の挨拶は、地区の皆さんへ向けてだったり会員の皆さんへだったりということで、少し混ざり合ってしまう挨拶になるかもしれませんが、よろしく願いたします。当クラブ、本日新たな会員が入ります。先日の例会の時に、地区会員増強委員長の西山様がいらして卓話いただいて、その時にオブザーバーとして来ていただいた大竹ゆかりさんが、どうしてもこの会が気に入ってしまったということらしく、懇親会の方からもう入会申込書を自ら進んで書いてくれたと聞いております。是非、2回後にガバナーの公式訪問の例会があるということで、それまでに諸手続きを終わらせてなかなか新入会員のバッヂをガバナーから頂けるといことは、そうそう機会がある方はなかなか少ないので是非ということで、大竹ゆかりさん本日入会させていただきました。本年度の泉田ガバナーの方針としまして、会員増強はやはり何よりであり、そして、やはり女性の比率も増やしましょう。そして、公共イメージを上げましょうという大きなテーマがあると思いますが、私共その会員増強に関しましては新年度始まりまして2名の増強。そして、1名女性の会員ということで、地区のいろいろな目標に対しては着実に合致して目標達成してきているのかと思います。ロータリーの例会の中で、ガバナー公式訪問というのはとても重要な例会でありまして、年次計画書を見ていただいたり、いろいろな講評をいただいたりということで、先程、今日9時半からガバナーにお越しいただきまして、ガバナーも前日から第一ホテルでセッティングしていただいてまして、今日9時半からまず会長と幹事が1時間大まかな方針のお話をさせていただいて、そしていわゆる理事、委員長の皆さんが20数名で1時間半、事業計画を聞いていただき、そして講評いただいて、いろいろな意見交換をしていくという部分を経まして今日のこの例会になりました。なかなかベテランの方も何回も経験してると思いますが、入会歴浅い方はこういった経験を経ましてこの例会を迎えるということになります。そして、私共県南分区というのは8クラブありまして、私共は6番目に創設されたクラブになります。一番が私どもの親クラブである白河ロータリークラブ。そして、須賀川ロータリークラブさん。そして、私も入った時も思ったのですが東白川さんが年上なんですね。そして、矢吹ロータリーさん、石川ロータリーさん。そして、私共白河西ロータリークラブ。そして、須賀川ばたんクラブ、白河南クラブという感じで、私共六男坊というか6番目です。それでも、本年創立40周年ということになります。おそらく一番設立が早い白河ロータリーさんが来年か再来年が70周年ということになります。本年は、私共のお兄さんのロータリーさんが50周年のやはり記念式典。そして、

私共が40周年ということで、県南分区は2クラブが今年周年迎えるということになります。先程、ガバナーの講評の中の一つですね、私共の年次計画書の中にやはり40周年をすごく謳ってくれたり、金田ガバナーエレクトということで、いろいろな言葉が入るということで、私共こう読んでた時にはあんまり気にしなかったんですが、そういったところで会員の皆様の機運がとても上がってるというお褒めの言葉をいただき、あっそういうことなんだと改めて感じさせていただきました。そういったところで40周年ということと、ガバナーエレクト初のガバナー輩出ということにもなりますので、私共西ロータリークラブはおそらく他クラブと比べて圧倒的に若く力があるクラブだと自負しております。会員数に関しても72名ということで、女性会員が今日大竹ゆかりさんが入会していただいて9名になります。9名で会員の割合からすると12.5%ということですので、県内のロータリークラブの中では比率的には決して悪くないクラブだと思っておりますし、理事の14名いるうち、3名が女性ということですので理事の比率も21%ということになっておりますので、他クラブと比べても女性の占める割合は比較的多いクラブとなっておりますので、これからそういった比率の向上というのは大事なことになるかと思います。そして、私共40周年に向けてちょっと調べさせていただいて、チャーターメンバーの皆様がまだ5名も在籍していただいております。そして、今日5名全員例会に来てらっしゃいます。先輩の中にはいろいろな歴史を教えていただいたり、永野先輩に関しましてはもう40年間無欠席ということで、新しく入った方、考えられますか。そういったところで、入ってからこうロータリーの良さを味わったり、こう出席を例会の重要さを気付いたり、そういった部分の方がほとんどだと思いますが、入った瞬間から40年間一度も休んでない。もちろんメーキャップでこうちゃんと調整ももちろんありますが、そういった意識の高さだったり、皆さん普通に貰ってる週報も40年間一度も止まってない。そういう部分はやはり先輩に感謝すべきでしょうし、若い人はそういう部分を沢山見習うべきだと思います。そして、先輩たちもとても若いメンバーが多い中、心を広く当クラブは若い者にも接してくれますし、あとは愛好会の数も他クラブと比べると圧倒的に多いので、そういったところではロータリーの中で最重要事項だと思います。親睦というのはとても出来てるクラブだと思います。ですから、退会者も少ないですし入会者も多いというふうに考えておりますので、今日はガバナーから今年の方針だったりそういった部分、お話ししっかり聞けるといいますので、その部分とあと地区の皆様には県南地区の六男坊ではこういう元気があるクラブがあるんだぞというのを体感していただいて、今日の例会充実した例会にしていけたらと思います。本日はありがとうございます。

■幹事報告

運天直人幹事

○白河南ロータリークラブ会長茨城龍芳 幹事佐藤靖一
：年次計画書の送付について

○白河ユネスコ協会事務局 立教志塾9月研修会について(通知)

○米山記念奨学会委員会委員長菅野秀士 : 米山奨学生の派遣について

○米山記念奨学会委員会委員長菅野秀士 : 奨学生卓話に対する謝礼について

○米山記念奨学会事務局長峯純子 : ハイライトよねやま306号

○審議会業務部マネージャーサラ・クリステンセン : 改訂版組織規定文書のご案内

●2025 - 26年度国際ロータリー

第2530地区区南分区ガバナー補佐 大木和彦様



皆さん、こんにちは。六男坊はすごく優秀だなというふうに私は思いました。県南で一番会員が多いんです。今回、72名の会員の皆様に対しまして実は火曜日に、白河ロータリークラブの公式訪問があって、今回は2回目の訪問ということです。ガバナー公式訪問では補佐が喋るのではなくて、要はガバナーと皆様の時間ということなので、挨拶は短めにしたと思うんですが、実は先程会員増強の話がありました。須賀川でも今年度、1名の会員を増強することができました。それは、青木大会員の社員さんが須賀川ロータリークラブの会員として入会していただきました。ありがとうございます。会員の皆さんが多いのでちょっと一人一人本当はご挨拶して言葉を交わしたいと思いましたが、ガバナー補佐訪問は、クラブ訪問は一年間で今回は4回程予定しております。残り2回程今後させていただきますので、その際にはゆっくりお話ししたいと思いますのでこまめとさせていただきます。お世話になります。よろしくお願いします。

■新入会員入会式

●新入会員 大竹ゆかり会員



ロータリアンの皆様、こんにちは。わたくしは矢吹町にある「大竹運送」の大竹ゆかりと申します。前回はお客様としてお招きいただきまして、本日入会することができました。実はわたくし、1996-97年の白河西ロータリークラブの留学生でした。その縁ございまして、皆様お知り合いの方も何人かおまして心強いと思っております。今後ともロータリーのほうで頑張っていきたいと思っておりますので、皆様どうぞご教示いただけるとありがたいと思

います。今後ともどうぞよろしくお願いします。



■各委員会報告

●野球愛好会

吉野敬之会長



それでは、野球愛好会のほうから今週の練習試合についてご報告させていただきます。土曜日、9月20日です。キューヒットケン野球大会というのありまして、今残ってるのが白河さんと大子さん。それとうちの白河西の3チームで練習試合を久しぶりに行おうということになりまして、場所はグリーンスタジアム8時開場で、第1試合が白河さんとうち白河西です。第2試合が、白河さんと大子。第3試合が白河西と大子ということで、それぞれ8時半、10時、11時半の3試合を予定しております。その後13時より「シン鹿島」におきまして懇親会というふうな予定になっております。是非お時間のある方は応援に来ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。時間ある方は是非ご参加をお願いします。

■本日のプログラム

●ガバナー公式訪問

2025-26年度国際ロータリー第2530地区ガバナー

泉田征慶様



昨日から、この第一ホテルさんに泊まらせていただいております。ガバナーは、来年の金田さんがそうなんですが、公式訪問の当日の朝は運転はしては駄目だというようなことに決まっております。といいますのは、万が一途中事故なんかに巻き込まれた場合に、その公式訪問先に届かない、行きつかないことがあるからというようなことでございまして、万が一事故などあればそこで乗り捨ててタクシーでも駆け付けろというようなことでございまして、当日は車を運転しては駄目だというような決まりがございまして、ところが、うちの浪江ロータリークラブの場合は住んでる場所がばらばらでして、例えば今日の例でいいますと今日来てる朝田幹事は福島の方に住んでます。僕は南相馬のほうなので、南相馬まで迎えに来てもらってそこから白河ってなかなかそういうふうにはいかないものですから、常に前泊前泊でホテル、会場の周辺のホテル、今日は会場がこのホテルだったもんですからホテルに泊まってホテルで集合。普通は近くのホテルに迎えに来てもらって会場まで5分なり10分なり送ってもらうような、そんな形になっているところがございます。なもんですから、朝ホテルチェックアウトしてしましたら、早い時間に30分以上も前に、運天幹事がいらしてございましてロビーで会長もその後いらして、ちょっとお話をさせていただきました。もう本当に最初から、先輩の自慢話ばかりで、ちょっとさっきクラブ協議会の中でもお話させてもらいましたが、金田さんも本当に会うたびにうちのクラブはいいクラブなんだ、うちのクラブはいいクラブだ、本当にそういう話です。今日お邪魔して、本当にそういう感じがします。本当に和気あいあいとしたクラブさんで、年次計画書の中でも愛好会がこんなにあるクラブって今まで見た時ないなって思うくらい、いろんな

愛好会が沢山あって、本当に懇親ができてるクラブさんなんだなというふうな感じがしたところでございます。地区のほうには、来年度金田さんがガバナーをなさるというようなことがあって、地区のほうには多くの8名の方に出向していただいております。皆様、いずれも非常に重要ポストについていただいております。力をいただいておりますことを、本当に重ねて感謝を申し上げますところでございます。ちょっと話変わりますが、実は浪江ロータリークラブは白河ロータリークラブさんと友好クラブになっております。ご存じの方は多いかと思いますが、浪江と白河さんと喜多方さん、3クラブ友好クラブ。これはどういう経緯かといいますと、実は1999年浪江ロータリークラブから初めてガバナーが出ました。作山さんという方がございます。その次は白河の富永さん。そして、その次の2001年が喜多方の佐原さん。そういう関係がありまして3クラブ当時仲が良く、これは震災後にだったんですが浪江を助けてっていうような、我々はいただく立場だったんですが、そういうことで3クラブ友好になろうというような話でした。10何年越しのいいですか、本当にそういう繋がりがあったんですが、きっかけがそのガバナーの連続輩出ということでございまして、今思えばわたくしとあと次、金田さんというところで、金田さんにもいろいろ協力していただけてるところも多くありまして、情報もお互いやり取り出来ていて本当仲良くさせていただいております。今後こういうふうな形で付き合いが長くさせていただければ本当ありがたいなと思ってるところでございます。あともう一つ、今年度は40周年というようなことでございます。その年度にしかも金田さんがガバナーをなさるということでございまして、浪江を振り返りますと震災後本当にばらばらになった状態でそれが再度結束したのが50周年でした。震災後8年経った年だったんですが、それがきっかけでガバナーの話が浪江ロータリークラブに来た時に、あの時50周年で再度固まったその絆で、本当に強くなって思ったものですから、これだったらできるなというふうに思ったことがありました。本当に浪江の場合には50周年がメンバーの気持ちをまた更に再度一つにしたというようなことでございます。白河西ロータリークラブさん今年度40周年というようなことでございますので、更に更に結束が強くなっていくことを期待しております。来年、本当に忙しい一年になるかと思いますが、金田さん本当に一人では絶対できません。メンバーの力が本当に必要でございますので、皆様の力を結集して一年間素晴らしい一年間にしたいと思っております。その浪江ロータリークラブですが、東日本大震災後に本当にてんでんばらばらにメンバーになりました。テリトリー内すべての地域が帰還困難区域ということでございまして、私も含めすべてのメンバーがもうロータリー活動は続けられないだろう。もう浪江ロータリークラブは終息しかないだろうというような考えでありました。ところがその頃、県内外のロータリアンの皆様から本当に多大なご支援と温かい言葉をいただきまして、それがあったからこそ今現在こうして浪江ロータリークラブ、そして同じ境遇でした富岡ロータリークラブさんもこうして継続させていただいておりますのは、本当に皆様のおかげだというふうに思っております。本当

に心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。それでは、本題に入らせていただきます。まずは、自己紹介から進めていきます。生年月日が1966年12月23日生まれでございます。入会が2008年の7月ということで、17年と2か月のロータリー歴になります。職業分類は、土木建設業でして、日本大学工学部建築学科、郡山の学校を卒業しました。卒業後、南相馬市にあります「庄司建設工業」という所で5年間勉強させてもらいまして、その後父が経営する「泉田組」に戻りまして現在に至っております。現職としましては、福島県建設業協会の理事、双葉市の支部長をしております。浪江町復興協同組合の副理事長も兼務をしております。ロータリー歴ですが、幹事が2017年で翌年2018-19年にクラブの会長、これは平井年度にクラブの会長をしました。その後3年間米山委員会のほうに、地区のほうに出向しまして、これは右近年度で2023-24年度、ガバナーノミニーと相双地区のガバナー補佐を兼務してやりました。その後、現在に至っております。左側が本来RI会長になるはずでありましたブラジルのマリオ会長エレクトでした。ご存じのように6月8日、就任3週間前に突然の辞任ということでございまして、どうなるんだろう本当にRI会長決まるのかというような思いがあったのですが6日後、6月14日には次の会長が決まるという、本当に層が厚い組織なんだなという感じがしました。どういう経緯で選ばれたかと申しますと、このマリオ会長が選挙になったのが2023年の選挙だったということで、その時の選挙人と立候補者が遡って再度選挙をして右側のイタリアのシチリア島にある60人くらいの規模のロータリークラブらしいんですが、そこから会長が選任されたというようなことでございます。通常は2年間のRI会長の準備期間があるんだけど、アレツォ会長は僕はたった2週間の準備期間しかなかったというような事を話してくれまして、クラブ協議会でも話をさせてもらいましたが、なかなかメッセージが出なくてちょっと年次計画書等の作成に時間を要したというようなことで、多分その辺があったのかなと思います。本来であればこのRI会長、左のマリオ会長と一緒に撮った写真を皆様のほうに大体こう表紙なんかに使ってもらうんですが、それが使えなかったというようなことでどうするんだというようなことで、我々同期のガバナー34人いる中で本当にちょっと話になったんですが。これは6月22日にあったカナダのカルガリーでありました国際大会。本当にたまたま何といいますか、必ず国際大会に行きますとその開会式の当日の朝、日本人朝食会というのをやります。それは600人くらい集まる朝食会なんですが、早朝7時からやります。そこにはRIの理事とも来ていただいて招待されて朝食会があります。たまたま、就任1週間しか経っていなかったアレツォ会長、本当に忙しいスケジュールだったと思いますが来ていただいて、我々ガバナーエレクトは本当に写真どうするんだという話だったものですから、もうここぞとばかりに、もうずらっと右側に並んでます。順番に写真撮ってもらおうとして、本当に朝食会に呼ばれたんだけど朝食会食べる時間もなくて、こういうような形で対応してもらいました。非常に気さくなRI会長でございまして、朝食会の会場を使ってやったものですから、バックは実はこんな状態でして、

手前にはテーブルがあって食事が並んでるんですけど、隔て板を持ってきて引っ張ってきてここで撮ろうみたいな感じで撮った写真です。貴重な一枚になりました。冒頭お話をさせていただきました、ちょっと浪江ロータリークラブのことに触れさせていだきたいと思います。うちのクラブ、ここが震災前でございます。真ん中が震災直後。一番右が現在の状況です。会員数は一時30人まで減りました。元々50人いましたが30人まで減ったという、今現在は以前と変わらない50人まで戻りました。例会場は「さち傳」といって、これ福島にあるんですが、もともと浪江ロータリークラブのメンバーで浪江町内でホテルを運営していたメンバーだったんですが、浪江で営業するのを断念しまして、震災後に福島のほうで和風レストラン、1階がレストランで2階3階が住居を建築しまして、そこでもう営業続けるんだというようなことで始まったもんですから、そこを例会会場でしばらくお世話になりました。ただ、例会するに関しては以前は4回やっておりましたが、これ県内外から集まるもんですから例会に集まることが事業みたいな感じでして、一日がかりでやる例会だったものですから、月1回がせいぜいということでございました。今現在は、以前と同じ浪江町にあります「如水」という所で例会をしております。また、例会の数に関しましては、てんでんばらばらに住んでおるのは以前と変わりませんで、遠くから来るということもあって、毎週はさすがに無理だろうということで月2回がせいぜいということで今現在やっています。年会費は以前は18万でした。当時は、一時みんな大変だろうということで12万まで下ろしましたが、今現在15万、18万まで戻そうということになっておりまして、以前と変わらない水準になっております。平均年齢ですが、60歳前後で以前と変わらないような状態になりまして、この月2回の例会以外は、ほぼ以前と変わらないような状態に戻りました。重ね重ねになりますが、本当にこれも皆様のおかげかなというふうに感謝をしているところでございます。これから本題に入りますが、これは2530地区、うちの地区のある3年間のメンバーの推移です。会員数が2302人いました。その3年後に2199人まで減りました。4.5%減です。ところが、その3年間に入った新会員の数がなんと771人で、この2302人に対して33%ということで退会者がいなければ本当に3年間で倍になる計算になります。ところが、それを上回る874人が3年間の間に退会しているということで、差し引きが103人のマイナスになっております。更に209人、これは新会員3年間未満の退会した数ですが209人。この771人に対して27%、3割の方が3年未満の退会になっているということで、この数字を見まして地区のほうで何かちょっと手が打てないかというようなことで、今年度の事業計画を立てました。新会員セミナーを地区で開催したいところで、これは今までIM等々で新会員セミナーをやっておりましたが、地区でやることによって地区の大きさと広さ、更にロータリーに詳しい人からのお話が聞けたり、更にですね県内外に友達を作ってもらおうということで、それによってその後のロータリー活動、地区でやるセミナーであるとか、地区大会に出やすくなる。いろんな意味でプラスになるであろうというようなことで、新会員セミナーを地区でやりた

い。そして、ロータリーは何より例会、毎回の例会が重要であるというようなことを言っておりますがそのためのサポートをできないかということで、卓話バンクであるとか、人気のある例会で何かを出したりして少しでもサポートをしたいというような、公共イメージの向上ということで、これはロータリアン自体がロータリークラブの内容、事業の内容を知らないことが多いというふうに思っております。これ私自身もそうだったもんですから、クラブ内だけではなかなかこうわからない部分ってあります。地区に出てわかったというのはいっぱいありますので、多分沢山の方がそうなのかななんて思っていて、ロータリー活動も内向きなロータリー活動、我々の時代はどういうふうな事をやってるんだというようなことを知らしめる必要があるだろうというようなことでございます。参加型のクラブ運営ということで、これは各クラブの委員長さんが頑張って一年間の計画を立てて一人で計画を立てて一年間事業をやる。それでは、このメンバーの方々がなかなかちょっと参加したという意識も少ないんじゃないかと思っていて、計画の段階からメンバーも一緒になって計画に入ってもらって、一年間の事業を責任感を持って一緒に活動してもらうために、この参加型のクラブ運営をお願いしたいというようなことでお願いしてるところであります。この公共イメージの向上について内向きな広報というようなことでしましたが、今日はその二つをちょっと紹介したいというふうに思っております。一つはポリオ。もう一つは青少年交換についてお話をさせていただきます。もう両方とも、当然皆さん知っている事かなと思いますが、ちょっと数字なんかを入れながらちょっと説明したいと思っております。これは始まったのが1985年でして、1988年にGPEIといまして世界ポリオ根絶推進活動のパートナー団体を結んだというわけでございます。この時が1988年に始まったということで、この時には35万人の発症者がいたというふうなことで、ポリオの根絶なんか絶対無理だろうというような話になったというようなことでございます。ところが、現在は99.9%減少しているというようなことでございまして、その間にビル&メリンダ・ゲイツ財団と2対1のマッチングというこれも有名な話ですが、ロータリーが1ドル出せばビル&メリンダ・ゲイツ財団が2ドル出すというような約束をしているというようなことでございます。この間のカルガリーでの国際大会でもこのビル・ゲイツさんがビデオメッセージを寄せてくられて、ロータリーと引き続きこういう素晴らしい事業を続けていくんだというような話をなさっておりました。尾身茂さん、コロナで有名になりましたが、先程の1988年にGPEIとのパートナーです。この時に尾身茂さんがWHOのアジアのポリオ根絶担当だったということで、この時にロータリーと交渉したのが尾身茂さんだそうです。最初にロータリーから1億5千万円貰ったのが呼び水になって、その後50億円までおかげでその資金が集まったということで、ロータリーには非常に感謝してるというような話でございました。今現在は、ロータリーポリオ根絶アンバサダーということで就任をしております。これはその35万人から減っておりまして一時一桁まで減りましたが、去年は99人発症しています。それはガザ地区で大量に発生したということで増えたんですが、本年度はこれ6月16日現在で

すが13人。これはパキスタンとアフガニスタンの紛争が起きている地域で、ポリオ経口活動ができないというような地域らしくて、そこでのみ発症しております。今後これが13人が、だんだんゼロに近づいていくものと期待をしているところでございます。これはその団体にどこがどれだけ寄付をしているかというような数字でございます。第1位がダントツですが、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が52%です。半分以上をこのビル&メリンダ・ゲイツ財団が出している。第2位が我々の国際ロータリーでございまして、数字は16.2%でございます。それに続いてアメリカ、カナダ、日本というふうが続いておりますけども、日本はこれはちょっと5番目に書いておりますが。我々は、このポリオの関しまして世界で2番目にこういう活動に拠出してる団体であるということでございます。こんな素晴らしい活動を我々はおこなっております。これは地区の青少年委員会ですが、今日はこの青少年交換委員会についてちょっと説明とPR動画作っております。ご存じの方多いと思いますが、高校生が留学ではなくてロータリーから派遣されるような形になります。向こうで一年間勉強して例えば高校2年生で行って戻ってきて3年生ではなくて、多分1年遅れるのが普通です。そのプログラムが合えばまた別のようなんですけど、大体は合わなくて一年間遅れるんですが、それ以上に価値がある事業でございます。先程、大木ガバナー補佐がクラブ協議会の中でも話しておりましたが、唯一ですね、これロータリアンの家族、親族が参加できるプログラムでございます。財団のお金なんか、メンバー、関係者には使えないのがこれは当然の話なんですけど、唯一この青少年交換事業に関しましては、ロータリアンのお子様、あるいはお孫様であるとか、ご親戚の方が参加できるプログラムになっております。1対1なものですから、オーストラリアとかアメリカとかカナダを希望する方が多いんですが、アメリカから来る人がいなければアメリカに行けない。カナダから来たいという人がいなければカナダには行けないというようなことで、これは毎年凄いなって思うんですけど青少年交換の委員長本当に神業的に組み合わせるって1対1の青少年交換をやっております。それで向こうに渡りまして海外でまずスピーチ、自己紹介から始まってロータリー活動でいろんな話をさせられるものですから、日本にいる間に勉強をします。スピーチの練習であるとか、本当に厳しい指導をする場合もあります。その練習風景と、あと渡って半年後に送ってきたビデオレターがありまして、それをちょっと皆様に見ていただきたいと思っております。

～～ビデオメッセージ上映～～

すいません、失礼しました。本来は英語を流暢に話してくるビデオメッセージだったんですが、たった半年でこんなに成長するもんだと思うぐらい成長します。一年後に帰ってくると、本当に行った時と随分違うなと本当に実感しまして、本当に子供たちにとっては本当に人生の中で最も成長する一年ではないかなと思っています。我々はそういう素晴らしい機会を作っている団体であります。これはチャリティナビゲーターといいまして、それは奉仕する団体を評価する機関でありまして、アメリカにある機関です、チャリティナビゲーター。その目的

は、信頼できる寄付の為の羅針盤。意義ある寄付をすべての人にとって簡単にすることっていうのがあってそれを目的しております。この団体から我々ロータリークラブは最高評価の四つ星をなんと16年連続で貰っている団体でございます。23万団体を対象しておりますが、そのうちのわずか1%に入る水準だというようなことで、その真ん中の上にあります100%というような非常に高い評価を得ている団体です。更にこれは管理費です。寄付をしますと必ず管理費というのは取られます。上から2番目、11%～25%が標準的な水準らしくて、100万円寄付すれば11万円～25万円は管理費のほうに取られるということでございますが、我々の財団であれば一番上の0～10%しか5%。財団であれば5%の管理費しか取っておりません。更に、米山は3%しか管理費を取っていないということで、非常に効率的で高い評価を得ている寄付先でございます。そんな素晴らしい活動をしている我々ですが、これは残念ながら右肩下がりの数字です、グラフです。3203人、これが1996年うちの地区のピークでした。2097人は今年度のスタートでございまして、三分の一にメンバーが減っているようなことでございます。6月4日に退任したマリオ会長エレクトでしたが、人間と同じく組織も日々老いていくものであって、我々のようなこのような素晴らしい活動を永遠に続けていくためには、一にも二にも三にも会員増強が必要であるというような話でございました。私もまさに同じように感じるところでございます。ただ、新しいメンバーを入れるだけではなくて、最も大事なのは退会者を少なくすることであろうというふうに考えます。ということで、最初に戻りますが新会員セミナーを地区で開催、これは早期の退会者を一人でも少なくしたいという思いがありまして、新会員セミナーを地区でやりたい。充実した例会、毎回例会が非常に大切だということでもあります。充実した例会を開催してもらうために地区のほうでも少しでもサポートしたいということで、先程申しました卓話バンクなどを考えております。ロータリアン自身がロータリークラブではどんなことをやっているのかというのをわからなければならぬであろうということ、どちらかという内向きな公共イメージ向上を務めたいと思っております。あとは、各それぞれのメンバーが帰属意識を持ってロータリークラブの活動に参加してもらるように、参加型のクラブ運営をおこなっていただきたいということで考えております。このようなことで、一年間地区のほうを運営していきたいと思っております。皆様のご協力を、是非よろしくお願いしたいと思います。ありがとうございます。



クラブ協議会